

中国地方向け基本方針

- 西日本豪雨から5年。中国地方の各放送局は災害の教訓を忘れず、地域の安全・安心の拠点として、人々の命と暮らしを守る情報を正確・迅速に提供します。南海トラフ巨大地震など大災害を想定した広域の支援体制を西日本の各放送局とともに強化します。災害が発生した際には、公共メディアとしてあらゆる手段を駆使して防災・減災につながる情報発信に取り組みます。
- 地域に根ざしたきめ細かい情報の提供に努めます。新型コロナウイルスの感染拡大からおよそ3年が経過し“ポストコロナ”の時代に進む中、変容した暮らしや経済活動をはじめ、地域社会が抱える課題に向き合い解決の糸口を探るほか、中国地方の豊かな自然や特色ある歴史・伝統・文化など多彩な魅力を伝えます。NHKプラスで地域の情報を全国に発信するとともに、ホームページ、SNSも適切に活用し、広く届けます。
- 世界で核兵器の脅威が高まる中、被爆地・広島で「G7広島サミット(主要7か国の首脳会議)」が開催されます。原爆投下から78年、被爆者の高齢化が進み被爆体験の継承が課題となっているいま、世界から注目が集まる「G7広島サミット」を契機に、被爆の実相や核兵器廃絶を求める声と平和への願いを、さまざまな手法を活用して広島から全国・世界に発信します。
- 県知事選挙、県議会議員選挙を含む統一地方選挙(投票日・2023年4月9日、23日)などの各種選挙報道に万全の態勢で臨み、有権者の判断のよりどころとなる情報を提供します。
- プロ野球やサッカーJリーグ、バスケットボールBリーグなど、地域に根づいたスポーツの最新情報を伝えます。スポーツ中継や平日午後6時台のニュース・情報番組、ホームページ・SNSなどのデジタルを駆使して、視聴者のみなさまの高い関心に応えます。

各局の重点事項

広島放送局

- **全国・世界に向けて、核兵器廃絶の訴えと平和を願う“ヒロシマの声”を発信します**

2023年5月に「G7広島サミット(主要7か国の首脳会議)」が開催される被爆地・広島に世界の注目が集まります。被爆地にある放送局として被爆者の思いに寄り添いながら、核兵器の恐ろしさや廃絶を訴え、平和を強く願う“ヒロシマの声”を全国・世界に向けて発信します。また、「G7広島サミット」が地域経済に与える影響や、広島魅力を海外にアピールしようと奮闘する自治体や企業などの取り組みをニュースや情報番組、国際放送、ホームページやSNSを活用し多角的に伝えます。
- **災害から人々の生命と財産を守り、地域の安全・安心に貢献します**

西日本豪雨災害から5年。激甚化する自然災害から命と暮らしを守るため、平日午後6時台のニュース・情報番組では、継続して防災・減災への取り組みを伝えます。また、金曜午後7時台の番組では、これまでの復興の足跡と、今も残る課題を検証し記憶の風化を防ぎます。発災時には地域の安全・安心の拠点として、いかなる事態でも放送サービスを継続する体制を確保し、放送やインターネットなど、あらゆる手段を活用して正確・迅速に情報を提供し、県民の生命と財産を守ります。
- **地域の課題と向き合い、地域の魅力を発信することで、視聴者の関心に応えます**

“CONNECT(コネクト)=つなぐ”をキーワードに、平日午後6時台のニュース・情報番組では、地域が抱える課題と解決に向けた動きを取材し、ホームページでも詳しく伝えます。金曜午後7時台の番組では、地域のニーズに応じた硬軟さまざまなテーマを取り上げ、未来につなげていきたい広島の話をお届けします。プロ野球「広島東洋カープ」や昨季サッカーJリーグカップで優勝した「サンフレッチェ広島」、バスケットボールBリーグ「広島ドラゴンフライズ」など、地元のスポーツ情報を発信します。

岡山放送局

- **防災・減災報道に重点を置き、人々の安全・安心な暮らしに貢献します**

西日本豪雨災害から5年にあたり、復興の現状や課題などを継続取材し発信していくことで、災害の記憶の風化を防ぎます。平日午後6時台のニュース・情報番組の防災コーナーや金曜午後7時台の地域放送番組での防災特集、SNSからの生活・防災情報などの発信のほか、域内民放各社や県内ケーブルテレビと培った連携を生かしたコンテンツ展開も推し進め、県民の自然災害への心構え醸成につなげます。
- **地域情報発信を、興味深く！身近に！豊かに！**

民放各社が岡山・香川両県を同一電波圏として同じ番組を放送するエリアにおいて、NHKの県域放送の強みを生かし、社会・経済・医療・文化・教育・スポーツなど、あらゆる分野での情報発信の充実を図ります。県内に暮らす視聴者が一層“興味深い”と感じられる放送を実現するべく取り組みます。また、SNSやインターネット、イベントなど積極的な展開を行うとともに、地域の生活に密着した情報

発信を強化することで、幅広い世代に放送局を“身近”に感じてもらえるよう努めます。さらには、9月に開業予定の岡山芸術創造劇場「ハレノワ」と連動した県内の文化・芸術情報を積極的に発信していくほか、隣県の各放送局との連携を強化し、“豊かな”地域放送の実現につなげます。

松江放送局

■ 新会館から地域の人々とともに新たな歴史を刻んでいきます

2023年3月にオープンの新しい放送会館から、「災害に強い放送局」と「地域の交流拠点」を掲げて、これまで以上に地域とつながり開かれた放送局として地域経済の振興と課題や魅力の発信を強化していきます。平日午後6時台のニュース・情報番組では、NHKで中国地方初となるバーチャルスタジオ導入による多彩な演出をはじめ、隠岐の島の伝送拠点スタジオを活用した隠岐諸島の情報発信も強化しながら、公共メディアとして地域の発展に貢献していきます。

■ 地域のネットワークを生かしながら“山陰地方の魅力”を伝えます

島根、鳥取両県に点在するさまざまな課題や魅力の発信を強化していくために、これまでの総合テレビ金曜午後7時台の番組、土日祝日午後6時台のニュースに加えて、平日午前7時台の県域ニュースを、鳥取放送局と連携して“山陰ブロック”に拡大し、地域のニーズに応えます。島根原子力発電所の再稼働問題をはじめ、バスケットボールBリーグ「島根スサノオマジック」の活躍、隣接する山口県や鳥取県と連動して各地を巡る平日午後6時台のキャラバンなど、NHKネットワークを生かした情報網で山陰地方の今を発信します。

鳥取放送局

■ 地域の発信力強化で“もっとつながり”関心に応えます

平日午後6時台のニュース・情報番組で、若手職員が1つの市町村に1週間滞在しながら地域の魅力を伝えるミニキャラバンを隔月ペースで放送するなど、地域に寄り添う情報発信に努めます。視聴者の声をもとに、現場に行きつて身近な疑問の解明や問題の解決を探る新企画を始めます。平日午前7時台の県域ニュースを、松江放送局と連携して“山陰ブロック”に拡大し、視聴者のニーズに応えます。NHKプラスの配信を最大限生かし、鳥取県の情報を全国に伝えます。

■ “頼れる、役立つ、元気になる” 地域公共メディアを目指します

県民の命と暮らしを守るため、災害連携協定を結んだケーブルテレビとともに防災・減災への取り組みを強化します。鳥取県を知るための小学生向け教育コンテンツを作成してテレビ・ホームページで発信し、地域学習の充実に貢献します。サッカーJリーグ「ガイナーレ鳥取」などの企画リポート・中継・関連イベントを積極的に展開し、スポーツの力で地域を盛り上げます。

山口放送局

■ 地域に根ざす公共メディアとしてすべての地域・すべての世代に確かな情報を届けます

激甚化する自然災害から県民の命と暮らしを守るため、テレビやラジオに加えてインターネットや

データ放送など、あらゆる伝送路を使ってニュースや防災・減災情報を届けます。災害の危険が迫っている場合には、避難を促すなど命を守るための情報発信を的確に行います。SNSなどデジタル発信にもさらに力を入れ、山口県のすべての世代に寄り添う放送局として存在感を高めていきます。

■ **多様なコンテンツを発信することによって地域を盛り上げます**

それぞれの地域で育まれてきた伝統や文化、いきいきと躍動する人たちなど、地域が持つ魅力を発信します。また、抱える課題にも地域とともに向き合い、解決への道筋を探ります。サッカーJリーグ「レノファ山口」や高校野球など、地域のスポーツを“厚く・熱く”お伝えし、県民とともに盛り上がり、感動を共有します。山口県内だけでなく福岡や広島、島根といった隣接する県の情報も発信します。特に福岡県については、県境にある関門橋が開通50年の節目を迎えることや山口県民のニーズを踏まえ、発信を強化していきます。また、県内各地で公開収録やイベントを開催し、放送・デジタル・リアルイベントの三位一体でNHKの価値を届け続け、県民に愛され信頼される放送局を目指します。